



緊急地震速報訓練～素早く机の下へ！～

11月2日（金）に緊急地震速報訓練を行いました。これは、11月5日が「津波防災の日」であることを受けて、国土交通省気象庁が全国的に参加を呼びかけたものです。緊急地震速報は、警報の音を聞くだけで胸が苦しくなるような気持ちになりますが、それだけ危険であることを知らせるための音であり、普段耳にしない子供たちにとっては何を知らせるものなのかを覚えておくことも必要です。

今回の訓練はいつもと違い、授業の途中で警報音を鳴らしました。身を守るために机の下に避難した後、余震や津波の心配がないことが確認できた後、担任が教室や児童の安全確認ができれば2次避難は行わず授業に戻るといった想定で行いました。

放送から警報音が流れると、子供たちは各教室で素早く机の下に身を隠すことができました。担任の先生方もその早さに驚き、訓練をするたびに反応が早くなっているようにも感じるとのことでした。その後、担任が安全を確認している間も、放送がないか静かに身を守り、終始真剣に訓練することができていました。



今回の訓練の内容は、「シェイクアウト訓練」とも呼ばれ、地震の際の安全確保行動「まず低く、頭を守り、動かない」を身に付ける訓練として気象庁も提唱しています。自身での身の守り方は訓練でできていても、実際に大きな地震が起こった際は、腰が抜けたり、泣き出したりと予想できない事態に陥る可能性があります。そうならないためにも、何度も訓練を繰り返し、いざというときのための行動を反射的にできるようにしておく必要があると考えます。学校だけでなく、ご家庭でも必要な訓練や地震の際の動きについてお子さんと確認していただければと思います。



シェイクアウト訓練は、「(地震の)揺れに備えろ！」という安全行動の標語、かけ声をイメージして、アメリカの地震研究チームが研究成果を広く知らせる防災訓練のために考えた造語です。

11月16日（木）は、火災避難訓練を行います。1年生は、これまで地震避難訓練は行ってきましたが火災の訓練は初めてになります。火災避難訓練は地震避難訓練と違い、迅速な避難が必要になります。「お・は・し・も（おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない）」などの決まりを守りつつ、落ち着いて避難するよう声を掛けたいと思います。

避難訓練の後は、6年生が代表で消火器を使った初期消火訓練と、偶数学年で煙体験を実施する予定です。